

# MaaS導入に向けた新モビリティサービスの 推進について

【担当省庁】国土交通省

地方創生に必要な持続可能な地域交通を確保するため、地域の実情に応じた移動手段の整備と各移動手段をシームレスに接続するMaaSの実証実験や実装・展開に向けた取組に支援をお願いしたい。

## 〔環境整備〕

○MaaS導入に必要な様々なデータの連携、MaaSシステムの標準化、ルール整備など、必要な環境整備を推進していただきたい。

## 〔実証実験等支援〕

○現在、京都丹後鉄道沿線地域や相楽東部で実施しているMaaSの取組を展開するため、決済端末の実装等基盤づくりの支援に必要な予算を十分確保いただくとともに、府域での更なる展開に向けた事業採択をお願いしたい。

(取組拡充予定：京都丹後鉄道沿線、相楽東部（南山城村）)

(今後取組予定：相楽東部（笠置町、和東町）、森の京都観光圏、東部丘陵（城陽市）)

## 【現状・課題等】

- ・全ての地域、全ての人がMaaSを利用できるようにするためには、各交通事業者が保有するデータの形式やAPIの標準仕様化等の基盤づくりが必要
- ・MaaS導入及び実装に向けては、交通機関や商業施設、観光施設などでのキャッシュレス決済への対応が必要となるが、実装にあたっての決済端末の導入経費については、交通機関などそれぞれが負担することになり、導入に躊躇する懸念があることから、スムーズなMaaS導入には初期投資への支援が必要不可欠

京 都 府 の担当課	建設交通部 交通政策課 (075-414-5143)
---------------	----------------------------

**【国の事業等】**

■概算要求 [国土交通省]

- ▶ 日本版MaaSの推進による地域や観光地の移動の利便性向上 10 億円  
(令和元年度予算 3 億円)

(参考) 令和元年度の制度概要

- ▶ 新モビリティサービス推進事業 (補助率 1 / 2)
  - ・ 連携基盤システム購入・開発費
  - ・ 既存の連携基盤システムの改修費や利用料
  - ・ 連携基盤システムを利用した決済端末のレンタル・リース料
  - ・ AIを活用したオンデマンド交通サービスの実証実験に必要な車両や機器整備及び運行経費
  - ・ 連携基盤システム導入に伴う効果や課題を把握するための調査経費

**【京都府の取組】**

導入地域	必要な支援	
	令和元年度	令和 2 年度
京都丹後鉄道沿線	MaaSシステム実証実験 効果・課題の検証	実装に係る決済端末導入 自動運転実証実験
相楽東部 (南山城村)	MaaSシステム実証実験 効果・課題の検証	実装に係る決済端末導入 貨客混載との連携 A I 予約等実証実験
相楽東部 (笠置町、和束町)	—	MaaSシステム実証実験 効果・課題の検証 実装に係る決済端末導入
森の京都観光圏 東部丘陵 (城陽市)	—	— (令和 3 年度以降)